

熊本地震・令和2年7月豪雨の教訓を反映

八代市国土強靱化地域計画

八代市

熊本地震からの復旧・復興の考え方や方策を継承して八代市^{きょうじん}国土強靱化地域計画を策定。何が起ころうとも耐えられる強靱な行政機能・地域社会・地域経済の実現を目指し、「発災前」に取り組むべき事項を示している。

災害に強い社会基盤・危機管理体制・防災行動力をテーマに策定

八代市^{きょうじん}国土強靱化地域計画（2020年3月策定・2024年3月一部改訂）は、国土強靱化の基本理念を踏まえるとともに、熊本地震や令和2年7月豪雨など過去の災害から得られた経験を教訓としている。

同地域計画は以下に掲げる方針に基づき、国土強靱化の取り組みを進めることにより、市民の安全・安心につながる「災害に強い社会基盤」や、自助・共助・公助による「危機管理体制」と防災教育・意識の高揚による「防災行動力」の向上を図ることとしている。

基本的な方針

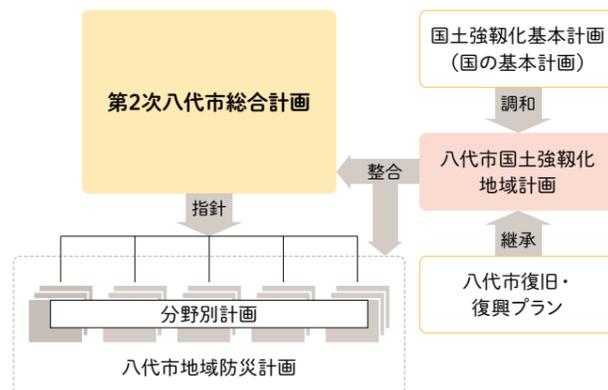
- 1 強靱化に向けた取り組み姿勢**
 - 脆弱性^{ぜいじやく}を多角的に検証し、その対策に長期的に取り組む。
 - 災害に強い基盤づくりにより、地域活力の向上と地域経済の持続的な成長を図る。
- 2 施策の効果的な組み合わせ**
 - 災害リスクや地域の状況等に応じたハード・ソフト両対策を効果的に組み合わせた施策の推進。
 - 自助・共助・公助の適切な組み合わせと役割分担
 - 非常時のみならず、平時にも有効に活用される対策の実施
- 3 効率的な施策の推進**
 - 施策の重点化と国の施策や既存の社会資本の積極的かつ有効活用を図る。
- 4 地域の特性に応じた施策の推進**
 - 地域コミュニティの維持、強化や高齢者等に配慮した施策の展開。

八代市復旧・復興プランを継承し、持続的に展開する

熊本地震からの早期復旧・復興を目指して策定した八代市復旧・復興プラン（2016年10月策定）は、大規模自然災害等に備えるための強靱な仕組みづくりや地域づくりを平時から持続的に展開していくこととしており、国土強靱化基本計画と共通する考え方が含まれていた。このため、同地域計画の策定に当たっては、八代市復旧・復興プランの基本理念等を引き継ぎ、これまで進めてきた復興への取り組みを、強靱化の要素を明確にして展開することとした。分野別施策ごとに脆弱性^{ぜいじやく}評価を実施しており、それに対する推進方針や主な取り組みを分かりやすく示している。

同地域計画は毎年度、見直しを行い、実効性確保と内容の充実に努めている。2022年3月に取りまとめた「令和2年7月豪雨に係る検証報告書」との整合も図り、輪中堤、宅地かさ上げ等による被災地域の復旧・復興に

八代市国土強靱化地域計画と他の計画との関係



向け、市が各地域の意向を踏まえて調整をリードしている。また、安全で迅速な避難、孤立集落の発生、要配慮者への対応を考慮して、「自主運営避難所設置の推進」を追加するなど、自助・共助・公助のバランスがとれた計画を目指している。

事前に備えるべき目標ごとの分野別施策 ※主なものを抜粋

分野別施策 ()内は全85ある分野別施策の番号

1. 共通事項

- (1)防災意識の啓発 (3)指定避難所等の周知徹底 (4)防災訓練の実施
- (5)自主防災組織の育成および活動の強化 (9)公共施設等の防災機能強化
- (10)地域交通ネットワークの確保に向けた道路整備
- (11)幹線道路ネットワークの確保に向けた道路整備 等

2. 人命の保護

- (12)住宅等の耐震化 (14)家庭・事業所における地震対策 (18)海岸保全施設の整備
- (22)山地・土砂災害対策の推進 (24)要支援者対策の推進 (26)外国人に対する情報提供の配慮
- (27)保育園、幼稚園、学校の災害対応の機能向上 等

3. 行政機能の確保

- (28)発災直後の職員参集および対応体制の整備 (29)職員の安全確保に関する意識啓発 等

4. 情報通信機能の確保

- (9)公共施設等の防災機能強化(再掲)

5. 救助・救急、医療活動等の迅速な対応

- (30)家庭や事業所における備蓄の促進 (31)市での備蓄の推進 (35)避難所等の保健衛生・健康対策
- (36)福祉避難所の円滑な運営 (39)孤立集落対策の推進 (44)医療救護活動の体制整備 等

6. ライフラインの確保および早期復旧

- (48)防災拠点等への電力の早期復旧に向けた連携強化 (50)応急給水体制の整備
- (51)下水道施設、農業集落排水処理施設およびし尿処理施設等の耐震化・維持管理・改築更新 等

7. 二次災害の防止

- (54)被災建築物等の迅速な把握 (57)ダム・砂防施設の維持管理・更新
- (61)適切な森林整備の推進 (63)正確かつ迅速な情報収集・伝達体制の整備 等

8. 経済活動の維持

- (65)金融機関や商工団体等との連携 (66)物資・エネルギー供給に向けた港湾整備
- (68)災害時の集出荷体制の構築 等

9. 迅速な復旧・復興に向けた条件整備

- (71)災害廃棄物処理体制の確立 (75)建設関係団体との連携による応急復旧体制の強化
- (77)災害ボランティアとの連携 (78)罹災証明書の速やかな発行 (80)地籍調査の実施 等

脆弱性評価
推進方針



市長 中村博生 | このたびの選出ありがとうございます。熊本地震や令和2年7月豪雨などの大規模災害から得られた経験を教訓に、安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、大規模災害に備える強靱な仕組みづくり、地域づくりに持続的に取り組んでまいります。

■八代市

〒866-8601 熊本県八代市松江城町1-25
E-mail: kikaku@city.yatsushiro.lg.jp <https://www.city.yatsushiro.lg.jp/>